

G Sユアサと新型 PCS 併設型蓄電池システムを用いた共同実証を開始

2025 年 9 月 25 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）は、株式会社 G S ユアサ（代表取締役 取締役社長：阿部 貴志、以下「G S ユアサ」）と 2024 年 5 月に締結した共同実証契約^{*1}に基づき、G S ユアサが新たに開発を手掛けた PCS^{*2}併設型蓄電池システム（以下「本蓄電池システム」）を大阪ガス敷地内に設置し、本日、共同実証を開始しました。

昨今、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）の導入が加速する中、蓄電池は再エネの出力変動に対する調整力として、その重要性が高まっています。

共同実証では、複数の電力市場取引に対応するマルチユース運用の検証を行うとともに、蓄電池の性能や特性を考慮した最適運用制御パターンおよびシステムの動作検証を行います。

また、当社は共同実証と並行して、大阪ガス 100%子会社の株式会社 KRI（以下「KRI」）がもつ「定置用蓄電池向けの劣化診断および寿命予測の技術」^{*3}（以下「本技術」）の本蓄電池システムにおける有効性を検証（以下「本検証」）します。今後は、これまで培ってきた本技術に関するノウハウに、本検証で得られた知見も加え、蓄電池の長期安定運用の実現を目指します。

Daigas グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを進めており、蓄電池事業においては、系統用・再エネ併設型をあわせて 2030 年度までに蓄電池運用規模 1,000MW^{*4}を目指しています。蓄電池事業の拡大を通じて、再エネのさらなる普及拡大と系統安定化に貢献するとともに、社会課題である脱炭素社会の実現に取り組んでまいります。

*1：2024 年 5 月 30 日発表「G S ユアサと新型 PCS 併設型蓄電池システムを用いた共同実証契約を締結」

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2024/1779001_56470.html

*2：蓄電池と系統電力をつなぐために必要なパワーコンディショナと呼ばれる装置。主に蓄電池の直流電流と電力系統の交流電流の変換を担う。

*3：2025 年 3 月 31 日発表「定置用蓄電池向けの劣化診断・寿命予測技術を開発～安全性と経済性を両立する最適運用システム構築を目指して～」

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2025/1786927_58387.html

*4：意思決定済みの案件を含む。

1. 共同実証の概要

項目	概要
設置場所	大阪市此花区 大阪ガス西島地区
実証運用期間	2025 年 9 月～2028 年 3 月（予定）
機器	PCS：500kW リチウムイオン電池：840kWh ※共にG S ユアサ製
実証内容	・複数の電力市場取引に対応したマルチユース運用 ・蓄電池の性能や特性を考慮した最適運用制御パターンおよびシステムの動作確認
役割分担	➤ 大阪ガス ・本蓄電池システムの運用に必要な設備の構築と敷地の提供 ・電力市場での取引を模した本蓄電池システムの運用管理 ➤ G S ユアサ ・本蓄電池システムの提供および運転・保守管理（O&M）対応の実施 ・データに基づく機器の改造・改善の実施および検討

2. 会社概要

＜G S ユアサ＞

会社名	株式会社G S ユアサ
本社所在地	京都府京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地
代表者	代表取締役 取締役社長 阿部 貴志
資本金	100億円
設立日	2004年6月1日
事業概要	自動車用・産業用各種電池、電源システム、受変電設備、その他電気機器の製造・販売 等

＜大阪ガス＞

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆
資本金	1,321億6,666万円
設立日	1897年4月10日
事業概要	ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等

以上